

# どう取り組むか 被ばく労働問題

## 交流討論集会

### プログラム(予定)

- ① 被ばく労働をめぐる政策・規制と福島のリハビリ作業  
……報告:全国労働安全衛生センター連絡会議
- ② 原発にとどまらない労働現場の被ばく問題  
……清掃労働、港湾労働、日雇労働の各現場から
- ③ 福島現地での取り組みから  
……労働者、家族、地域の声・訴え
- ④ 討論(コメント:鎌田慧さん)



◆東電福島第一原発事故から1年。先の見えない事故収束作業、そして、まき散らされた放射能によって、原発労働だけでなく、さまざまな労働現場、生活の現場に関わる労働が、いまや被ばくを伴う労働となっています。

◆これまで、それぞれの運動現場でさまざまな取り組みがありました。しかし、労働者の命と安全を守るための成果は勝ち取れていません。被災により、厳しい生活におかれた福島の人々が多く動員される除染作業の安全性についても疑問です。労働者のみならず家族も含めた生活・労働の両面からの対応が必要です。

◆こうした状況にどう具体的に切り込んでいけるのか。被ばく労働問題に関わっていこうとするさまざまな労働団体・市民グループ・個人が集まり、福島現地や労働現場の声に耳を傾け、そことつながり情報を共有しながら、今後の共同した取り組みを展望していくために、交流討論集会をもちます。多くの方の参加を訴えます。

日時●2012年4月22日(日) 13時開場

場所●代々木八幡区民会館 集会場  
(小田急線代々木八幡・地下鉄代々木公園6分／裏面地図参照)

主催●被ばく労働を考えるネットワーク準備会

連絡先●〒111-0021 東京都台東区日本堤1-25-11 山谷労働者福祉会館気付 090-6477-9358(中村) / nasubi@jca.apc.org(なすび)